

# 生活協同組合コープこうべ（兵庫県）



コープのあるまち 協同のある暮らし

## 【生活協同組合コープこうべの概要】

- 設立：1921(大正10)年
- 本部：兵庫県神戸市
- 主な事業：食を中心に安心して利用できる宅配（約50万世帯）や店舗事業（139店舗）を運営。組合員や地域住民と連携し、より良い社会の実現に取り組む。
- 事業エリア：兵庫県全域、京都府京丹後市、大阪府北部(豊中市・箕面市・池田市・吹田市・茨木市・高槻市・摂津市・能勢町・豊能町・島本町・大阪市淀川3区)
- 組合員数：1,727,692人(2023年9月末現在)



## 【環境チャレンジ目標 “エコチャレ2030”】

コープこうべでは2030年に向けた「環境チャレンジ目標」を2018年度に制定。5つの目標に向けて取組を推進。

「チャレンジ2」  
事業活動における  
食品廃棄物を半減！  
(基準年2015年)

12 つくる責任  
つかう責任



### 【重点施策】

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンクなどへの食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



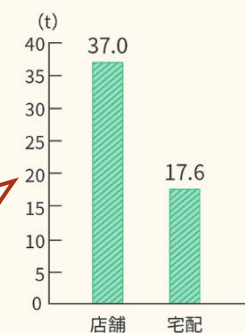
## 【取組の状況】



93店舗でフードドライブの常時受け付けを実施

- 2015年から宅配返品商品をフードバンクへ提供開始。2017年から実験店舗でフードドライブの受付を開始。
- 現在、フードドライブの認知度向上のために、年2回（9月、1月）に**集中受付キャンペーン**を実施することで、定期的に組合員にフードドライブを呼びかけ。

2022年度の食品提供実績は**54.6トン**  
(店舗37トン、宅配17.6トン)



# 生活協同組合コープこうべ（兵庫県）

## 【主な取組】

### ＜フードバンク等への食品提供＞

- 家庭の余剰食品を持ち寄ってフードバンクに提供する「フードドライブ」を推進。
- このほか、やむなく返品となりお届けできなかった宅配商品や店舗の販売期限切れ食品の一部を、フードバンクや地域のこども食堂へ提供。



賞味期限を確認し、仕分ける様子



### ＜規格外食品等の商品化＞

- 規格外原材料の有効活用や、地域の取引先の活性化などの課題解決をめざし、コープこうべと生産者、取引先が共同で開発する「CO・OP NEXT100商品」。
- 鶏肉の未利用部分を使用した鶏だんご等の商品。



約1ミリのメッシュを通過して骨を取り除いたもの



### ＜「てまえどり」キャンペーン＞



- 2018年から神戸市と連携して「てまえどり」を全国に先駆けて開始。
- 「てまえどり」は全国的に取組が広がり、2022年の流行語大賞トップ10に選出された。



### ＜エコファームの取組＞

- 三木市にある「環境共生型農園エコファーム」は、店舗から出る食品廃棄物から堆肥をつくり、その堆肥をつかって野菜を育て販売する「食品リサイクルループ」を実践しているグループ農場。
- エコファームではコロナで中止になった収穫体験用の野菜を生活が困窮している留学生などに提供。



提供された玉ねぎ